

**Citation:** Li W, Tang L, Wu T, Zhang J, Liu GJ, Zhou L. Chinese herbal medicines for treating pre-eclampsia. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2006, Issue 2. Art. No.: CD005126. DOI: 10.1002/14651858.CD005126.pub2.  
**CRG名:** Pregnancy and Childbirth

## [最新版\(英語版\)はこちら](#)

**英語版最終改訂年月:** 27 September 2009  
**Clib issue No.;** N/U: 2010 issue 1, Update

**背景:** 中医学では、女性が妊娠している場合には必要な栄養を児に供給するために母体血液の大半が胎盤に向かうと考えられている。その結果、母体の他の臓器が損傷を受けやすくなると思われる。これらの臓器には肝臓、脾臓、腎臓などがある。漢方薬は個々の人に合わせて使用されることが多く、その使用は中医学症状の存在に基づいている。漢方薬の一般的な効果は血管拡張を促し、血流を増加させ、血小板凝集を軽減させることにより子癇前症に有益であると思われる。

**目的:** 子癇前症を治療するための漢方薬の有効性と安全性を評価し、これをプラセボ、無治療、西洋医学または別の漢方薬と比較する。

**検索戦略:** Cochrane Pregnancy and Childbirth Group's Trials Register(2009年6月)、Cochrane Central Register of Controlled Trials(コクラン・ライブラリ 2009年第2号)、MEDLINE(1950年~2009年6月)およびChinese National Knowledge Infrastructure(1979年~2009年6月)を検索した。

**選択基準:** 子癇前症の治療に漢方薬を用いているランダム化比較試験。

**データ収集と分析:** 3名のレビューアが独自に研究を検索し、全文を評価した。試験を含めるかどうかについて疑われる場合は、別の1名のレビューアも研究を評価した。本レビューに含める試験はなかったため、解析を実施しなかった。

**主な結果:** 本レビューに含める適切な試験はなかった。

**レビューアの結論:** 子癇前症を治療するための漢方薬の有効性と安全性は依然として不明である。本分野のランダム化比較試験はない。質の高いランダム化比較試験の必要性が急務である。

(監訳 江藤宏美)  
翻訳公開日: 10年6月25日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。